

茨城県景気ウォッチャー調査 (平成16年6月調査分)

※DI (Diffusion Index)

景気動向を判断するために使用される指標の一つであり、景気の方角性（景気が上向きか下向きか）をみるもので、50が横這いを表しています。茨城県景気ウォッチャー調査では、回答を区分ごとに点数であらわし、その点数を回答構成比（%）で乗じてDIを算出しています。

調査の目的

- ・ 経済の第一線で働いている人々から、景気に関する生の情報を得る。
- ・ その景気に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに、迅速に公表する。
- ・ 県や市町村のきめ細やかな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気判断の基礎資料となる。

調査の概要

- ・ 調査客対数…県内各地域（県北、県央、鹿行、県南、県西）ごとに60名、計300名。
- ・ 調査内容…景気の現状、先行き判断とその判断理由。
- ・ 調査時期…四半期（6、9、12、3月）ごとに実施し、翌月公表。

結果の概要（回答率93.0%）

1. 県全体の状況

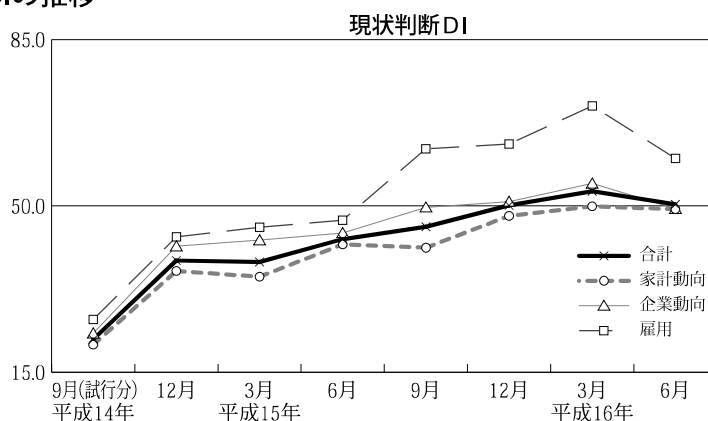
(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは、「良くなっている」・「やや良くなっている」の回答構成比が減少し、「やや悪くなっている」の回答構成比が増加したため、2.8ポイント減の50.3となった。前回調査（平成16年3月調査）を下回ったものの、引き続き横這いを表す50を上回った。これは、製造業DIが49.5と前回調査（58.1）を大きく下回ったものの、住宅関連DI（63.9）、非製造業DI（53.3）及び雇用関連DI（60.0）がいずれも50を上回ったためである。

主な判断理由

- ・ 電力等大型設備投資関連の受注の減少が止まらない。（県北＝製造業（電気機械器具））
- ・ 勤労者の住宅ローンについての相談件数、申込件数が増加している。（県央＝非製造業（金融業））
- ・ 販売量、価格とも横這いであるが、原油価格の高騰による原材料価格の上昇で減益傾向にある。（鹿行＝製造業（化学工業））
- ・ 求人広告の量が増加傾向にある。（県南＝求人広告）
- ・ 不動産売買の来客数、契約数が増加している。（県西＝非製造業（不動産業））

景気の現状判断DIの推移



■調査から

(2)先行き判断

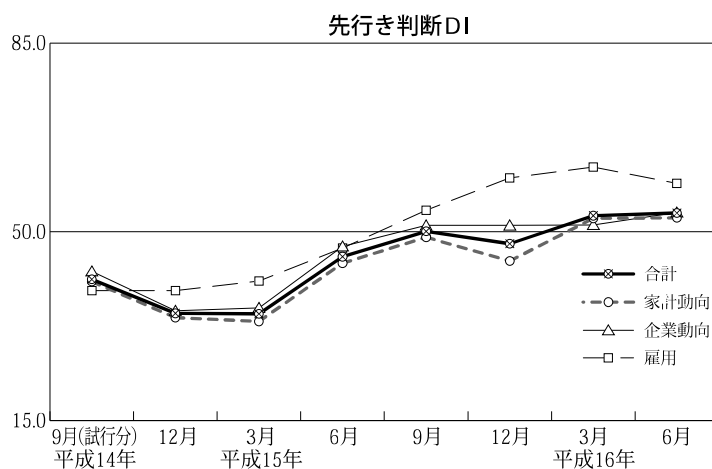
3か月先の景気の先行き判断DIは、「良くなっている」の回答構成比が増加し、「悪くなっている」・「やや悪くなっている」の回答構成比が減少したため、0.5ポイント増の53.5となり、引き続き横這いを表す50を上回った。

これは、全体の9割を占める家計動向関連及び企業動向関連のDIが、いずれも前回調査を上回ったためである。昨年の冷夏に対して今年の夏は平年並みの気温になると予想されることや、アテネオリンピックによる需要増に期待する声が多く聞かれた。一方、製造業等では原油価格高騰の影響を懸念する声が多く聞かれた。

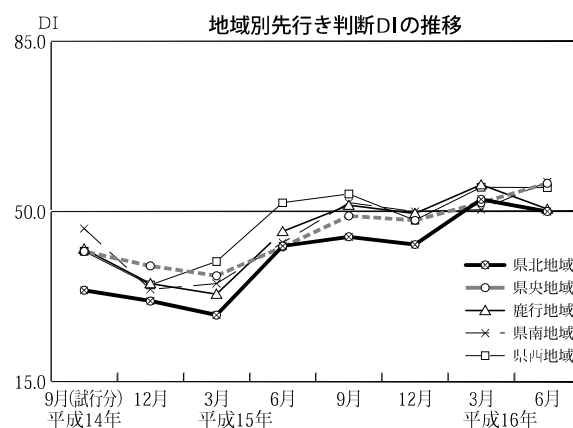
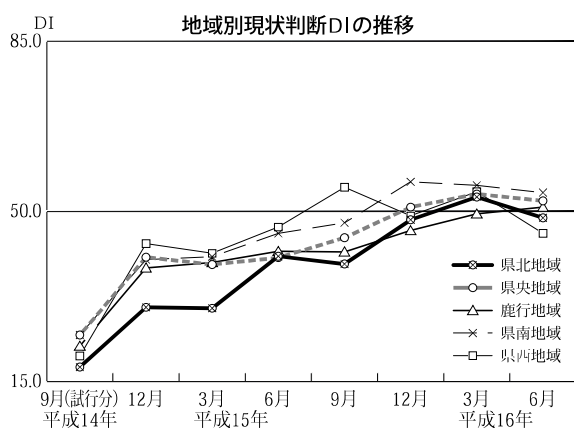
主な判断理由

- ・ 昨年の冷夏とは異なり今年の夏は暑くなると予想されるため、来園者数の増加が見込まれる。
(県北=レジャー施設)
- ・ 中古住宅、中古マンションの市場における30代の購買意欲が強くなってきている。(県央=非製造業(不動産業))
- ・ 原油価格の高騰により、石油を主としている化学工業は少なからず打撃を受けると思われる。
(鹿行=製造業(化学工業))
- ・ オリンピックや地上波デジタル放送開始に伴うAV機器の需要がある。(県南=家電販売店)
- ・ 原油価格の高騰による石油製品の値上がりだが、徐々に商品に転嫁されてくると思われる。
(県西=ガソリンスタンド)

景気の先行き判断DIの推移



2. 地域別の状況



県北地域

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは48.7であり、3月調査分と比べて4.3ポイント下回り、横這いを表す50を下回った。業種別にみても、家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の全てのDIが3月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・営業を閉鎖する店が散見される（ガソリンスタンド）
- ・デジカメ・携帯電話等関連企業は忙しくなっているようである。（製造業（電気機械器具））

景気の現状判断DI

調査日時 分野	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月	平成16年 3月	平成16年 6月
合計	40.8	39.2	48.3	53.0	48.7
家計動向関連	40.1	33.3	43.9	49.3	47.8
企業動向関連	42.6	45.6	54.4	54.4	45.6
雇用関連	40.0	60.0	60.0	75.0	65.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成15年6月	3.3%	11.7%	43.3%	28.3%	13.4%
平成15年9月	1.7%	10.3%	46.6%	25.9%	15.5%
平成15年12月	1.7%	30.5%	40.7%	13.6%	13.5%
平成16年3月	10.2%	18.6%	50.8%	13.6%	6.8%
平成16年6月	1.8%	23.2%	50.0%	17.9%	7.1%

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは、3月調査分と比べて2.5ポイント下回り、横這いを表す50となった。業種別にみても、家計動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・海外への作業シフト傾向が続き、価格競争がさらに激化すると思われる。（製造業（輸送用機械器具））
- ・仕事量が増えても請負単価が安いいため、経営的に改善されるまでには時間がかかると思われる。（雇用相談員）

景気の先行き判断DI

調査日時 分野	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月	平成16年 3月	平成16年 6月
合計	42.9	44.8	43.2	52.5	50.0
家計動向関連	38.8	41.7	35.8	53.4	50.0
企業動向関連	51.5	48.5	54.4	48.5	48.5
雇用関連	45.0	55.0	60.0	60.0	55.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成15年3月	0.0%	13.3%	53.3%	25.0%	8.4%
平成15年6月	0.0%	25.9%	44.8%	12.1%	17.2%
平成15年9月	1.7%	16.9%	47.5%	20.3%	13.6%
平成15年12月	5.1%	22.0%	52.5%	18.6%	1.8%
平成16年3月	0.0%	21.4%	60.7%	14.3%	3.6%

県央地域

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは52.2であり、3月調査分と比べて1.4ポイント下回ったものの、引き続き横這いを表す50を上回った。業種別にみても、家計動向関連DIが3月調査分を上回ったが、企業動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・消費税総額表示に慣れてきたように思われる。ただし、油断はできない。（スーパー）
- ・近隣の衣料品店やデパートが閉店したため、人通りが大幅に減少しており、買物ついでに客が減少している。（理・美容店）

■調査から

景気の現状判断DI

調査日時 分野	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月	平成16年 3月	平成16年 6月
合計	40.5	44.6	50.9	53.6	52.2
家計動向関連	38.6	41.7	49.3	47.9	48.6
企業動向関連	43.3	48.3	50.0	61.7	56.3
雇用関連	45.0	55.0	65.0	70.0	65.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成15年6月	0.0%	14.5%	43.6%	30.9%	11.0%
平成15年9月	1.8%	17.9%	46.4%	25.0%	8.9%
平成15年12月	1.8%	24.6%	54.4%	14.0%	5.2%
平成16年3月	1.8%	30.4%	51.8%	12.5%	3.5%
平成16年6月	0.0%	32.1%	46.4%	19.6%	1.8%

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは55.8であり、3月調査分と比べて4.0ポイント上回り、引き続き横這いを表す50を上回った。業種別にみても、家計動向関連DI及び企業動向関連DIが3月調査分を上回った。

主な判断理由

- ・夏の営業で予約が入っており、期待が持てる。(観光型ホテル)
- ・まだまだ設備が100%稼働する状態ではないが、全体的に忙しくなってきた。(製造業(一般機械器具))

景気の先行き判断DI

調査日時 分野	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月	平成16年 3月	平成16年 6月
合計	42.7	49.1	48.2	51.8	55.8
家計動向関連	40.7	48.6	45.3	48.6	53.6
企業動向関連	46.7	50.0	55.0	56.7	59.4
雇用関連	45.0	50.0	50.0	60.0	60.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成15年3月	0.0%	12.7%	56.4%	20.0%	10.9%
平成15年6月	1.8%	21.4%	55.4%	14.3%	7.1%
平成15年9月	0.0%	22.8%	52.6%	19.3%	5.3%
平成15年12月	1.8%	23.2%	58.9%	12.5%	3.6%
平成16年3月	3.6%	28.6%	57.1%	8.9%	1.8%

鹿行地域

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは50.9であり、3月調査分と比べて1.4ポイント上回り、横這いを表す50を上回った。業種別にみても、家計動向関連DIが3月調査分を上回ったが、雇用関連DIが3月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・客数が増加しており、ボトルも比較的入っている。企業の景気が幾分良くなったようである。(スナック)
- ・求人の増加がこのところ小幅になっている。また、求職者が減少していない。(公共職業安定所)

景気の現状判断DI

調査日時 分野	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月	平成16年 3月	平成16年 6月
合計	41.8	41.7	46.1	49.5	50.9
家計動向関連	38.6	38.9	44.6	46.5	50.0
企業動向関連	50.0	45.3	48.4	51.8	51.8
雇用関連	40.0	50.0	50.0	65.0	55.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成15年6月	1.8%	16.4%	41.8%	27.3%	12.7%
平成15年9月	0.0%	15.8%	43.9%	31.6%	8.7%
平成15年12月	5.2%	19.0%	39.7%	27.6%	8.5%
平成16年3月	3.6%	25.5%	47.3%	12.7%	10.9%
平成16年6月	1.9%	27.8%	46.3%	20.4%	3.7%

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは50.5であり、3月調査分と比べて5.0ポイント下回ったものの、引き続き横這いを表す50を上回った。業種別にみても、家計動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分を下回った。

主な判断理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・先の予約がまったく入らない。(ゴルフ場) ・地元若者を受け入れる会社が少ないため、都会へ行った若者が戻ってこない。中高年者の仕事も減少するばかりである。(クリーニング店) 	

景気の先行き判断DI

調査日時	平成15年6月	平成15年9月	平成15年12月	平成16年3月	平成16年6月
合計	45.9	51.3	49.6	55.5	50.5
家計動向関連	45.7	52.1	46.6	54.9	49.3
企業動向関連	46.7	50.0	54.7	51.8	51.8
雇用関連	45.0	50.0	55.0	70.0	55.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成15年3月	0.0%	18.2%	50.9%	27.3%	3.6%
平成15年6月	1.8%	24.6%	52.6%	19.3%	1.7%
平成15年9月	3.4%	22.4%	50.0%	17.2%	7.0%
平成15年12月	3.6%	38.2%	41.8%	9.1%	7.3%
平成16年3月	1.9%	22.2%	55.6%	16.7%	3.7%

県南地域

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは53.9であり、3月調査分と比べて1.5ポイント下回ったものの、引き続き横這いを表す50を上回った。また、DI値は全県を通じて最も高かった。業種別にみても、企業動向関連DIは3月調査分を上回ったが、家計動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分を下回った。

主な判断理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・弁当や飲み物をコンビニ等で買ってくる客がまだまだ多く見られる。(レジャー施設) ・依然として小規模の工事ではあるものの、見積りの依頼が増加している。(非製造業＝(建設業)) 	

景気の現状判断DI

調査日時	平成15年6月	平成15年9月	平成15年12月	平成16年3月	平成16年6月
合計	45.5	47.7	56.1	55.4	53.9
家計動向関連	50.8	43.9	55.0	56.4	54.4
企業動向関連	33.8	47.1	50.0	45.3	50.0
雇用関連	50.0	75.0	85.0	80.0	65.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成15年3月	1.8%	23.6%	36.4%	30.9%	7.3%
平成15年6月	3.6%	25.5%	41.8%	16.4%	12.7%
平成15年9月	8.8%	33.3%	35.1%	19.3%	3.5%
平成15年12月	5.4%	37.5%	33.9%	19.6%	3.6%
平成16年3月	5.3%	33.3%	35.1%	24.6%	1.8%

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは56.1であり、3月調査分と比べて5.7ポイント上回り、引き続き横這いを表す50を上回った。また、DI値は全県を通じて最も高かった。業種別にみても、家計動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分を上回ったが、企業動向関連DIが3月調査分を下回った。

主な判断理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・新規学卒者対象の求人受理説明会の参加事業所が増加している(公共職業安定所) ・主力業務が海外生産に押され気味であり、回復が見込めない。(製造業(金属製品)) 	

■調査から

景気の先行き判断DI

調査日時 分野	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月	平成16年 3月	平成16年 6月
合計	43.6	51.8	50.0	50.4	56.1
家計動向関連	45.5	50.8	49.3	50.7	58.1
企業動向関連	39.7	52.9	42.6	51.6	50.0
雇用関連	45.0	55.0	80.0	45.0	65.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成15年3月	0.0%	9.1%	63.6%	20.0%	7.3%
平成15年6月	1.8%	34.5%	38.2%	20.0%	5.5%
平成15年9月	5.3%	19.3%	50.9%	19.3%	5.2%
平成15年12月	1.8%	23.2%	53.6%	17.9%	3.5%
平成16年3月	7.0%	24.6%	56.1%	10.5%	1.8%

県西地域

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは45.5であり、3月調査分と比べて8.6ポイント下回り、横這いを表す50を下回った。また、DI値は全県を通じて最も低かった。業種別にみても、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが3月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・夜（仕事帰り）に来店する客が減少している。（パチンコ店）
- ・天候不良により農産物の出荷量及び価格が低下している。（農産物直売所）

景気の現状判断DI

調査日時 分野	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月	平成16年 3月	平成16年 6月
合計	46.8	55.0	49.1	54.1	45.5
家計動向関連	41.9	49.2	47.0	49.2	45.3
企業動向関連	51.3	61.1	51.4	60.3	44.7
雇用関連	60.0	70.0	55.0	65.0	50.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成15年6月	0.0%	27.3%	38.2%	29.1%	5.4%
平成15年9月	1.8%	36.4%	47.3%	9.1%	5.4%
平成15年12月	1.8%	28.6%	39.3%	25.0%	5.3%
平成16年3月	3.6%	34.5%	38.2%	21.8%	1.9%
平成16年6月	3.6%	17.9%	42.9%	28.6%	7.1%

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは54.9であり、3月調査分と比べて0.1ポイント下回ったものの、引き続き横這いを表す50を上回った。業種別にみても、企業動向関連DIが3月調査分を上回ったが、家計動向関連DI及び雇用関連DIが3月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・今年の夏は例年並の気温になることが予想されているため、行楽地向け商品の売上増加が見込まれる。（製造業（食品））
- ・売上げが徐々に減少しており、宴会の予約も少ない。（寿司店）

景気の先行き判断DI

調査日時 分野	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月	平成16年 3月	平成16年 6月
合計	51.8	53.6	48.2	55.0	54.9
家計動向関連	51.6	52.3	46.1	55.3	52.3
企業動向関連	51.3	54.2	50.0	48.5	57.9
雇用関連	55.0	60.0	55.0	75.0	60.0

回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成15年3月	1.8%	27.3%	47.3%	23.6%	0.0%
平成15年6月	1.8%	34.5%	45.5%	12.7%	5.5%
平成15年9月	0.0%	25.5%	43.6%	29.1%	1.8%
平成15年12月	0.0%	40.0%	43.6%	12.7%	3.7%
平成16年3月	3.6%	23.2%	66.1%	3.6%	3.6%